



# とびうめ

金沢市立紫錦台中学校 学校便り 第4号

令和6年7月5日(金)

<http://cms.kanazawa-city.ed.jp/shikindai-j/>

発行責任者 校長 神農 幸子

## ☆県中学校体育大会及び県吹奏楽コンクールが始まります

7/6(土)~7/15(月)の期間、いよいよ上記の大会が始まります。

7/2(火)の6時間目には、「激励会」が挙行され、県体出場選手(55名)及び吹奏楽部員の激励を行いました。本校からは、サッカー部、男女硬式テニス部、男子バレーボール部、剣道部、バドミントン部、吹奏楽部、水泳競技が出場します。北信越大会や全国大会出場に向け、健闘してほしいものです。

詳細につきましては、以下の通りになります。応援の程、宜しくお願いします。



## 明るく笑顔で戦おう！ 頑張れ 紫錦台中学校

部名	開催日	初戦の試合時刻	初戦の対戦相手	初戦の会場
男子バレーボール	13日(土)~14日(日)	10:00	丸内中学校	寺井体育館
サッカー	13日(土)~15日(月)	9:30	金沢学院大学 附属中学校	スカイパークこまつ翼
男子硬式テニス	13日(土)~14日(日) 予備日:15日	9:00	4校によるリーグ戦	金沢市城北市民 テニスコート
女子硬式テニス	13日(土)~14日(日) 予備日:15日	9:00	高岡中学校	金沢市城北市民 テニスコート
バドミントン	13日(土)	9:10	大徳中学校	美川スポーツ センター
剣道	14日(日)~15日(月)	9:20	男子:中能登、城南、清泉 女子:辰口、城南、森本	松任総合運動公園 体育官
水泳	13日(土)~14日(日)	9:15	※各競技種目にて	金沢プール
吹奏楽部	21日(日)	14:30~14:40	※午後の部 4番目	津幡町文化会館 シグナス

## ☆令和6年 夏の交通安全県民運動 ~交通マナーアップいしかわ~

夏の交通安全県民運動が、7/11(木)~7/20(土)の期間に実施予定です。紫錦台中学校では、生徒の「安全・安心」な学校生活を第一に考えております。そこで、中学生の事故で特に多い自転車に乗車する時について、以下の点に注意してください。

- ヘルメットを必ず着用すること
- 基本的な交通ルールとマナーを守ること
- 前後左右の安全確認とスピードダウンを行うこと
- ライトを点灯したり反射材を活用したりすること
- ※自転車保険へ積極的に加入すること

※道路交通法により、すべての年齢層の自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務となっています。

※令和6年4月1日より、義務化されました。



# ☆紫錦台中「合唱祭」開催!

本年度も金沢歌劇座にて『合唱祭』を開催いたします。是非とも生徒たちの練習成果をご覧頂きたいと思っております。ぜひご参加ください。宜しくお願いします。

〈日時〉令和6年7月12日(金) 9:20~12:20(予定)

〈会場〉金沢歌劇座



～合唱祭 2024 スローガン～ (2の4 リリー 楓さん)

「響かせよう 私達にしか出せない歌声を 唯一の音色を」

〈合唱曲及び発表順〉

	1年生の部		2年生の部		3年生の部	
1	2組	大切なもの	2組	My Own Road 僕が創る明日	1組	YELL
2	4組	Believe	3組	さくら草	3組	友
3	1組	この星に生まれて	1組	COSMOS	2組	虹
4	5組	マイバラード	4組	心の瞳	4組	あなたへ
5	3組	君は君でいい				

☆カメラやビデオは合唱に支障がないように、保護者席から離れずに静かに撮影してください。また、個人情報保護の観点から、撮影した写真や動画をSNS等にアップしないでください。ご理解の程、どうぞ宜しくお願い致します。

※詳しくはHP上に「紫錦台中学校『合唱祭』のご案内」がアップされております。

## ☆働くことの意義を学ぶ ～2年生「職場体験」～

2年生は、6月19日(水)～21日(金)の3日間「職場体験」を行いました。ねらいは「働くことについての理解を深めるとともに、望ましい職業観や勤労観を身につける」ことにあります。

今、学校教育に求められている力の1つに、生涯にわたり実社会を主体的に生きていくための力、とりわけ「キャリア教育」が強く求められています。この「職場体験」では、子どもたちと実社会とのかかわりという観点から、生徒の職業観、勤労観を育成するとともに、学びを支え、生き方を考えさせる極めて有効な学習活動といえます。

職場体験をやり遂げた子供たちの顔には、自信と達成感が伺えました。生徒の感想文を紹介します。



スーパーの職場体験は思っていたよりも大変で、力仕事も多く、特に一番印象に残っているのは「レジ打ち」です。実際のお客を目の前に緊張して戸惑ってしまった場面も多かったです。普段、自分で買い物をしに行くときは、セルフレジをよく使っているので、商品のバーコードを読み取らせていくのはそこまで苦ではなかったけれど、おつり(現金)やレシートの渡すときの順序が一番難しかったです。その体験も含めて、以前よりも「働くというのは、大変なことなんだな」という思いも強くなった気がします。お客様あつてのお店とも思っていたけれど、売手と買手の両方があつてこそのお店なのだと思います。地域の人と協力し合つて続いていくような、そんな商売がこれからもあつてくれたらいいなと思えました。

